

編集後記

●早朝ジョギングをしていると、あちこちでアブラゼミが仰向けに合掌しながら息絶えていた。●乾いて軽くなったアブラゼミは、風に吹かれれば、セルロイドのおもちゃのように、ころころと転がっていく。その顔に、笑みが浮かんでいるような気がして、魂の抜け殻でいるということは、それほど軽やかで気安いものなのか、と、ちょっとばかり冷たく鋭くなった空気を肺一杯に満たしてから、また走り続けた。

(会員 丸山)



やませみ

56

発行日/2009年10月5日

編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)

埼玉県飯能市柳町18-17

- 申し込み用紙や機関誌「やませみ」は「銀河堂」「Café豆さる」にあります。
- 「やませみ」へのご意見をお寄せください。投稿もお待ちしています。

URL=<http://www.tenranzan.com/>
E-mail=tenta@tenranzan.com

会員募集中!!

1995年2月、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

*年会費

●正会員……………普通会員 2,000円
……………特別会員10,000円

●賛助会員……………1口10,000円

*会費・カンパ送付先

郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」00580-9-16342

日よう日ふる里散歩



当会では天覧山周辺の自然に親しんでいただくために毎月「ふる里散歩」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

◆10月31日(土)

「谷津田の水辺づくりツアー」の巻

集 合/飯能駅改札口前午前9時半

要申込み/先着15名(昼食付き)

問合せ/てんたの会 042-974-1691(浅野)

持ち物/飲み物・作業できる服装と
着替え

参加費/2000円

(小学生以下500円)

★雨天中止

主 催/てんたの会



◆12月13日(日)

「里山のリースづくりエコツアー」の巻

集 合/飯能市郷土館ロビー 午前9時半

要申込み/先着15名

申込先/てんたの会 042-974-1691(浅野)

持ち物/飲み物・お弁当、山道を歩ける服装

参加費/1000円(小学生以下500円)

★雨天実施

午前中山歩き、昼食後にクリスマスリース作りを行います。

主催/てんたの会

◆1月1日(金)

「初日に祈る山歩き」の巻

集 合/能仁寺山門前

午前6時15分

★雨天中止

参加費/無料



共催/はんのう景観トラスト、(財)埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部



NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

No. 56

2009.10.5

やませみ



見おろしているぞ

見ておるぞ

古木に宿る自然の理

聴きながら……

それ、飛ぶぞ

今号は「谷津田特集」!!

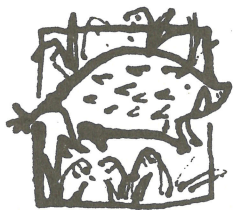
- 東谷津買い取り(トラスト)実現!/浅野正敏(てんたの会 代表)
- 稲作頼末記/高沖義則(はんのう市民環境会議 会員)
- やませみ掲示板
- 谷津で見つけたユニークな虫たち/山梨光明(てんたの会 会員)
- 谷津田の年間作業暦
- ニホンミツバチ騒動記/大石 章(てんたの会 会員)
- 鳥瞰図・てんた里山基金寄付のお願い
- 日よう日ふる里散歩のおしらせ●編集後記



※当会のホームページへどうぞおいでください! <http://www.tenranzan.com/>

天覧山・多峯主山の自然を守る会HP

<http://www.tenranzan.com/>



稲作 頼末記

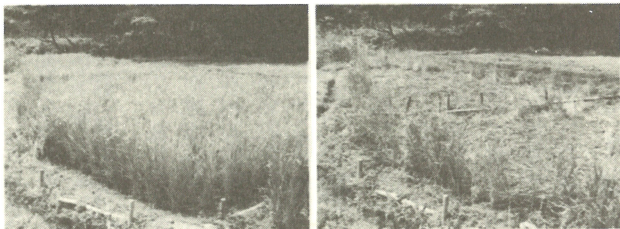
数十年ぶりに再生した天覧入り谷津田の稲が実り始めたとき、穂は食いちぎられ、完膚無きまでに踏み倒されました。

イノシシにやられることは、ある程度の覚悟はしていました。ただ、稲の育ちが思いのほか良かったこと、田植には、子供を含めた多くの市民に参加いただいたこともあって、稲穂の実った田んぼを見たい、見せてあげたい、という気持ちが強くなり、それが叶わなかったことが残念です。

しかし、田植では2、3センチに成長したトウキョウサンショウオの子供を、網ですくう親子の姿がありましたし、田んぼの周辺では今でも多くのホトケドジョウがいます。最近カワセミが天覧入りで見られることも、田んぼ再生の予想していなかった成果と言えるでしょう。

来年のことは話し合いで決めることです。ただ、私が田んぼを続けたいと思うのは、イノシシやシカの被害を克服した例があり、これを確認したいし、それに、なんと言っても、里山の夏は青く、秋は黄金色に実った田んぼが似合うからです。

(はんのう市民環境会議／高沖義則)



見事に実りましたが… 残念ながらイノシシにやられました。

てんたの会では、1998年より天覧山北東側の休耕田で、湿地環境保全整備を続けてきました。その後地主さんから「永久にこの地を自然豊かな里山環境として保全してほしい」と土地譲渡のお話を頂きました。

これを受けて、2007年3月に「てんた里山基金」を設立して、買取に向けたナショナル・トラスト運動を開始しました。そして2年を経過した現在、買取に必要な基金と農地取得の許可を得ることが出来ました。実は、農地法の規制により市民団体は農地を取得できないという問題が、全国各地のトラスト運動や里山保全活動で大

きなネックとなっていたのです。当会は、農業委員会に対して「エコツアーを通じた都市住民との交流」「多様な生物の生息環境とその調査研究対象地としての保持」「子ども達の環境学習場所としての活用」を強く訴えました。

農地法の見直し、当会の活動実績等が重なり、県下初（日本初？）の環境保全（ビオトープ）を目的とした農地法5条による許可（農地転用と譲渡）が下りたのです。売買手続も済み、待望の市民団体による谷津田取得1号地が実現しました。

(代表理事／浅野正敏)

東谷津トラスト地 ついに買取り 実現！



やませみ 掲示板

◆10月31日(土)
「東谷津トラスト地
買取り達成を祝う会」
を開催します！
エコツアー終了後2時
より現地にて行います。
参加無料。

◆11月8日(日)
飯能祭りに
フリマ出店！

当会有志でお祭り広場でフリーマーケットのお店を開きます。天覧山周辺の自然を写した写真などの展示も行います。ぜひお立ち寄りください。
問合せ
972-9396 (山梨)
977-1890 (早瀬)

◆11月22日(日)
「里山復活祭
～谷津田の整備を楽しもう！」

参加無料

“天覧山谷津の里づくりプロジェクト”の整備を進めます。作業後にはトン汁や秋の味覚を味わいます。
集合／市民会館北側 中央公園トイレ付近
午前9時（解散／午後0時半頃）
申込み／はんのう市民環境会議事務局
(市役所環境緑水課) 042-973-2125
持ち物／作業着、長靴、軍手、タオル、飲み物、カマ(持っている方)
★雨天の場合、翌日23日に延期
主催／はんのう市民環境会議、協力／てんたの会

自然観察指導員の派遣で
自然環境学習を支援します

当会では、市内の小中学校の総合学習等に、森林インストラクターや自然観察指導員を派遣し、長年自然観察を通じた自然環境学習を行ってきました。子どもたちが自然を面白いと思うことが一番の環境教育です。学校や地域で自然環境学習を行いたいという方は、ご相談ください。
連絡先 大石章
ezh01701@nifty.com

月	ミツバチ	アカガエル	ヒキガエル	シュレーゲル	ホトケドジョウ	ホタル	池・川の整備	草刈り
1	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	卵に注意	↑
2	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
3	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
4	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
5	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
6	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
7	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
8	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
9	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
10	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
11	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑
12	↑	産卵	産卵	産卵	産卵	上陸	↑	↑

※ 紙田義信 (会員)

エコツアー

3月はセリご飯と豚汁。10月はムカゴご飯と豚汁。どちらも飯能名物「味噌付け饅頭」とハブ草茶がります。軽い作業の後に薪で焚いたお釜のご飯。中身のセリは谷津田で摘み、ムカゴは傍の竹藪や山で採ったもので、野性味たっぷりの味をいただきます。豚汁は大鍋で煮る具沢山です。(年2回:有料)

東谷津作業

草刈や池や水路の整備などを行っています。水生生物の繁殖が主な目的ですが、私たちにとても居心地の良い空間を作る為に楽しく作業しています。(原則毎月第4日曜日:都合で変更する場合も)

ボランティア保全作業

ふる里散歩の体験学習として行うことがあります。(保険料300円)

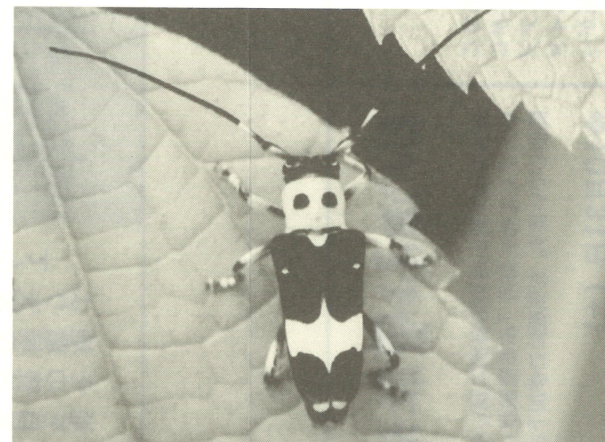
谷津田の年間作業暦

谷津で見つけたユニークな虫たち

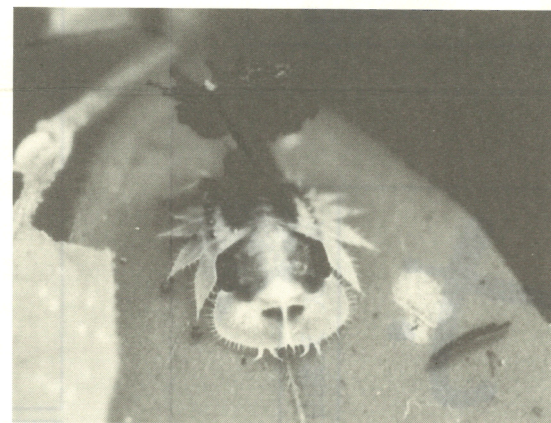
夏の谷津、草原は数知れないほどの虫たちが元気に動き回る。観察(撮影)には絶好の季節、そんな中でも特に姿や色合いがユニークなものがある。紹介しよう。



口ひげを生やした人の顔のような模様をみせるのはナガメ(カメムシに1種)の幼虫だ。似たような人が近くにいそうだね。



カラムシの葉の上で気取ったポーズはラミーカミキリ。まるで燕尾服を着たロボットのようなだ。



遠い星の未来基地のようなこの虫は、イチモンジカメノコハムシの幼虫がサナギに変態したところだ。ムラサキシキブの葉の上に陣取っている。

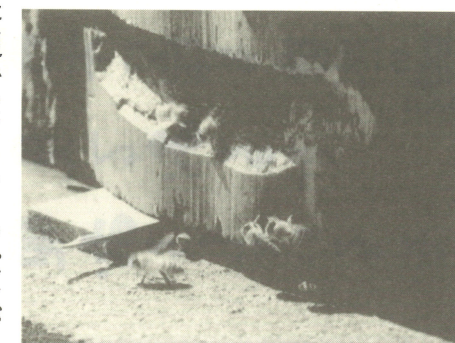


少年を背中に乗せて今にも飛び出しそうなネバーエンディングストーリーの龍を思い出させるのはアゲハモドキの幼虫。フワフワした白い衣を風になびかせて、どこか未知の国に乗せて行ってくれそうだ。



背中に愛(ハート)のマークを織込んだ陣羽織を着て得意げなのはエサキモンキツノカメムシ、雌は産卵後も離れず子供達の独立を見届け、正に愛に生きる。背中のマークは伊達ではないのだ。

ニホンミツバチ騒動記



ここ数年、全世界でセイウミツバチが原因不明の病気で急激に減少し、食料生産や生態系への影響が懸念されています。このため、当会は、県の「彩の国みどりの基金」の補助を受け、養蜂を始めました。ミツバチによる植物の増殖、昆虫と植物の共生を知ることによる生態系保全の普及啓発さらに養蜂による地域振興も狙いとしています。

蜂は、天覧山周辺でも生息しているニホンミツバチで、ダニや病気に強い上、性格も穏やかで、自然に優しい養蜂が可能です。7月某日、会員3名で、蜂が落ち着く夜に秩父の養蜂家を訪れ、蜂群を譲り受けました。運搬は、丸太をくり抜いた底抜きの筒状の巣箱に入っている蜂群を、そのままシートにくくりつけ静かに運搬するしかありません。

飯能に着いて下るしたところ、揺れたため巣が2枚欠け落ち、蜂が外に飛び出しています。蜂は夜が明けると飛び出す上、場所を記憶してしまうので、巣箱の設置は夜明けまでに行う必要があります。手ですくってできるだけ元に戻した上で、3時半に再集合としました。

翌未明の天覧山では、巣箱をシートにくるんで天秤棒につるして運ぶ、どうみても怪しい3人組の姿がありました。車で運ぶとさらに破損する恐れがあったためです。幸い何とか日の出前に設置が終わり、天気の良い日にはせせと蜜や花粉を運ぶ蜂が見られます。採蜜は来年になります。

(会員 大石 章)

「奥武蔵鳥瞰図」 「てんた里山基金」にご協力ください。

パノラマ風景画家、友利宇景氏制作による「奥武蔵鳥瞰図」ができました。名栗湖を通過して飯能市内を流れる名栗川と、巾着田に注ぐ高麗川の流れに挟まれて秩父へと続く山々が、飯能上空から一望するように描かれています。飯能の街のようすや、歩いた山の位置などをもう一度確かめてみませんか。

飯能市内の「めいわどう」(TEL042-972-2010)で販売しています。

郵送ご希望の方は10枚まで送料800円でお送りします。郵便振替での入金確認次第発送します。下記振り込み口座へ「鳥瞰図何枚希望」と明記の上ご送金ください。



てんた里山基金寄付として
1部1000円

(B2版/タテ728mm ×ヨコ515mm)
*寄付金はすべて当会の自然環境保全のための活動資金に充てられます。

「てんた里山基金」郵便振替口座
.....
名 称/NPO法人 天覧山・多峯
主山の自然を守る会
口座番号/00580-9-16342

「てんた里山基金」とは?

てんたの会では天覧山北東側にある谷津田「東やつ」を買収して、里山環境の保護活動を実践して行こうというナショナルトラスト運動を進めています。その買い取りと保持のために「てんた里山基金」を設立しました。里山基金へのご寄付も受け付けております。お振込は上記へお願いいたします。

